

# 施策評価シート

幹事部局

教育委員会

|             |   |
|-------------|---|
| 施策の名称       | VI-4-(2) 文化財の保存・継承と活用   |
| 施策の目的       | 全国に誇る島根固有の歴史・文化についての保存・継承と、調査研究を進め、その魅力を県内外に積極的に発信し、歴史・文化を通じた人々の交流を促します。  |
| 施策の現状に対する評価 | <p>①(歴史文化遺産の保存・継承)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市町村や所有者が実施する文化財の保存修理、耐震化等を計画的に支援しているが、今後も、大規模な修理を要する重要文化財建造物等が数多く残っていることが課題である。</li> </ul> <p>②(歴史文化遺産の研究と情報発信)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>講座・シンポジウムは、会場とオンラインを併用したことで、コロナ禍前を上回る参加者・視聴者数を獲得しているが、視聴している世代は、ほとんどが中高年層が占め、若年層の割合が低い。</li> <li>古代文化センターの研究成果である書籍「古代文化研究」などのWEB公開を順次進めている。</li> </ul> <p>③(歴史文化遺産の活用)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>古代出雲歴史博物館では、団体旅行客の減少やマイカー利用の個人客の増加など、客層に変化が見られる。</li> <li>公民館や学校等での出前講座等の実施、古代出雲歴史博物館等での修学旅行の受入等を行い、学校教育・社会教育における歴史・文化への理解促進を図っている。</li> <li>県内7つの日本遺産については、順次国による継続審査を迎えるため、認定地域が実施する観光振興や地域振興の取組に対するフォローアップが必要である。</li> <li>世界遺産石見銀山遺跡については、世界遺産センターでの企画展や、オンライン講座を開催するなど、認知度向上と来訪者の増加に努めているが、一般県民に向けた分かりやすい情報、特に、若年層が興味・関心を抱くコンテンツの開発が十分ではない。</li> </ul> |
| 今後の取組の方向性   | <p>①(歴史文化遺産の保存・継承)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文化財の保存状態等について市町村や所有者と情報共有し、中長期的な観点から、計画的に修理等が行われるよう支援していく。</li> </ul> <p>②(歴史文化遺産の研究と情報発信)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>若年層などの幅広い人々に興味を持ってもらうため、新たな研究テーマの選定や、研究成果の情報発信の検討に当たって、講座受講者等のアンケート結果など幅広い意見を取り入れていく。またオンラインを活用した情報発信に継続的に取り組む。</li> </ul> <p>③(歴史文化遺産の活用)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>古代出雲歴史博物館における個人旅行客向けの情報発信を強化するとともに、コロナ禍で増加した修学旅行等の学校利用については、学校や旅行会社への働きかけを強化し、定着化を図っていく。</li> <li>県内7つの日本遺産の認定継続に向け、認定地域等の関係者と地域振興の好事例の共有を図るとともに、効果的な情報発信を行う。</li> <li>世界遺産石見銀山遺跡については、幅広い世代の関心を引くような情報発信に努めるほか、令和9年度の発見500年・登録20周年に向けて、大田市や地元関係団体等と連携し、新たなテーマ研究や認知度向上等に取り組む。</li> </ul>  |



事務事業の一覧

| 施策の名称 |                 | VI-4-(2) 文化財の保存・継承と活用 |   |                     |                     |      |
|-------|-----------------|-----------------------|---|---------------------|---------------------|------|
|       | 事務事業の名称         | 目的                    |   | 前年度の<br>事業費<br>(千円) | 今年度の<br>事業費<br>(千円) | 所管課名 |
|       |                 | 誰(何)を対象として            | どういう状態を目指すのか  |                     |                     |      |
| 1     | 指定文化財等保護事務      | 県民、文化財所有者・保持団体        | 県民が郷土への愛着や誇りを持ち、文化財を将来にわたって確実に継承し、活用できるように地域総がかりで取り組む環境を整備する。                       | 3,450               | 4,433               | 文化財課 |
| 2     | 歴史遺産保存整備事業      | 県民、文化財所有者・保持団体        | 文化財の損壊や滅失を防ぎ、将来へ確実に継承していく   | 116,775             | 172,320             | 文化財課 |
| 3     | 八雲立つ風土記の丘事業     | 県民及び県外からの利用者          | 風土記の丘地内の史跡や文化財を通して県内の文化財への興味・関心を高め、文化財を身近なものと感じてもらおう。                               | 67,639              | 66,604              | 文化財課 |
| 4     | 古墳の丘古曾志公園事業     | 県民及び県外からの利用者          | 公園内の古墳に触れることで、島根の古代の歴史文化に親しみを持ってもらおう。   | 30,588              | 6,792               | 文化財課 |
| 5     | 古代出雲歴史博物館管理運営事業 | 古代出雲歴史博物館の利用者及び県内外の人々 | 島根の歴史文化に関する研究成果の発信、学習・交流機会の提供により、県内外の方々に島根の歴史文化の魅力を発信し、理解してもらおう。                    | 489,968             | 400,545             | 文化財課 |
| 6     | 埋蔵文化財保護事務       | 県民及び開発事業者             | 開発に際し貴重な文化財が破壊あるいは消失しないよう、計画段階で必要な協議を行い、適切な対応が取られるようにする                             | 2,423               | 2,622               | 文化財課 |
| 7     | 文化財活用事業         | 県民                    | 子どもから高齢者まで幅広い世代に島根の歴史文化を学習する機会を積極的に提供し、ふるさとを誇りに思う心を醸成することで、県民の心の豊かさの向上に寄与する。        | 3,227               | 3,433               | 文化財課 |
| 8     | 埋蔵文化財調査センター事業   | 県民・公共事業者              | 開発事業地内の埋蔵文化財調査を行いその価値を明らかにし、調査で得た情報を県民に還元すると同時に、開発事業と文化財保護との調整を円滑に行い、適正な公共事業の促進を図る。 | 391,972             | 297,643             | 文化財課 |
| 9     | 古代文化の郷「出雲」整備事業  | 県内外の人々                | 八雲立つ風土記の丘地内の史跡等の魅力向上を図るとともに、出雲部に存在する多様な文化遺産をネットワーク化し、歴史探訪ルートを設定して、野外博物館として活用してもらおう  | 16,671              | 22,819              | 文化財課 |
| 10    | 未来に引き継ぐ石見銀山保全事業 | 県内外の人々                | 世界遺産「石見銀山遺跡とその文化的景観」の価値を高め、適切に保存整備し未来に継承しつつ、その価値や魅力について情報を発信し認知度の向上を図る。             | 66,497              | 80,042              | 文化財課 |
| 11    | 古代文化研究事業        | 県内外の人々                | しまねの特色ある歴史文化について、新たな視点から調査研究を行い、学術的基盤を構築する。研究成果を広く公開して、歴史・文化の魅力を向上させることを通じ人々の交流を促す。 | 38,932              | 46,509              | 文化財課 |
| 12    | 島根の歴史文化活用推進事業   | 県内外の人々                | しまねの豊かな歴史文化の魅力を広く伝え、県民の郷土への自信を培う。県外の方々には、しまねの歴史文化に関心をもってもらうことで、人々の交流を促進する。          | 37,642              | 33,974              | 文化財課 |
| 13    |                 |                       |   |                     |                     |      |
| 14    |                 |                       |   |                     |                     |      |
| 15    |                 |                       |   |                     |                     |      |
| 16    |                 |                       |   |                     |                     |      |
| 17    |                 |                       |   |                     |                     |      |
| 18    |                 |                       |   |                     |                     |      |
| 19    |                 |                       |   |                     |                     |      |
| 20    |                 |                       |   |                     |                     |      |
| 21    |                 |                       |   |                     |                     |      |
| 22    |                 |                       |   |                     |                     |      |
| 23    |                 |                       |   |                     |                     |      |
| 24    |                 |                       |   |                     |                     |      |
| 25    |                 |                       |   |                     |                     |      |

# 事務事業評価シート

## 1 事務事業の概要

担当課 文化財課

|                        |              |   |                |           |             |
|------------------------|--------------|---|----------------|-----------|-------------|
| 事務事業の名称                |              | 指定文化財等保護事務  |                |           |             |
| 目的                     | 誰(何)を対象として   | 県民、文化財所有者・保持団体  | 事業費<br>(千円)    | 令和4年度の実績額 | 令和5年度の当初予算額 |
|                        | どういう状態を目指すのか | 県民が郷土への愛着や誇りを持ち、文化財を将来にわたって確実に継承し、活用できるように地域総がかりで取り組む環境を整備する。   |                | 3,450     | 4,433       |
|                        |              |   | うち一般財源<br>(千円) | 3,450     | 4,433       |
| 令和5年度の取組内容             |              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・島根県文化財保護審議会の開催</li> <li>・文化財保護法や島根県文化財保護条例等に基づく文化財の指定事務</li> <li>・文化財愛護意識醸成のための普及啓発事業</li> <li>・博物館法に基づく博物館の登録事務、銃砲刀剣類取締法に基づく銃砲刀剣類登録事務</li> <li>・島根県文化財保存活用大綱に基づく文化財の保存・継承・活用の推進</li> </ul> |                |           |             |
| 令和4年度に行った評価を踏まえて見直したこと |              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財保存活用地域計画について、市町村の計画策定を支援する。</li> <li>・島根県文化財防災・防犯マニュアルについて、市町村や文化財所有者等に内容を周知する。</li> </ul>   |                |           |             |
| 1                      | 上位の施策        | VI-4-(2) 文化財の保存・継承と活用   | 3              | 上位の施策     |             |
| 2                      | 上位の施策        |   | 4              | 上位の施策     |             |

## 2 KPI(重要業績評価指標)の状況

| KPIの名称                |                          | 年度   | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 単位 | 計上<br>分類 |
|-----------------------|--------------------------|--|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----|----------|
| 1                     | 国・県指定文化財の指定件数【当該年度4月～3月】 | 目標値  |       | 4.0   | 4.0   | 4.0   | 4.0   | 4.0   | 件  | 単年度<br>値 |
|                       |                          | 実績値  | 4.0   | 0.0   | 5.0   | 1.0   |       |       |    |          |
|                       |                          | 達成率  | —     | —     | 125.0 | 25.0  | —     | —     | %  |          |
| 2                     |                          | 目標値  |       |       |       |       |       |       |    |          |
|                       |                          | 実績値  |       |       |       |       |       |       |    |          |
|                       |                          | 達成率  | —     | —     | —     | —     | —     | —     | %  |          |
| KPIの他に参考とすべきデータや客観的事実 |                          | 令和4年度 文化財の指定:(県)有形文化財(彫刻) 木造十一面観音立像、追加指定:(国)史跡 松江城、登録:(国)美保神社拝殿、新比恵家住宅主屋<br>文化財保存活用地域計画:5市町(益田市、出雲市、津和野町、松江市、大田市)が策定済<br>文化庁の補助事業のうち地域伝統行事・民俗芸能等への補助にかかわるもの:衣装等修理(R3 2件10団体、R4 7件13団体)、公開支援(R3 0件、R4 8件) |       |       |       |       |       |       |    |          |

## 3 現状に対する評価

|      |                      |  |
|------|----------------------|--|
| 成果   | 「目的」の達成に向けた取組による改善状況 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・県にとって重要な文化財1件が新たに県指定文化財に指定された。</li> <li>・市町村や無形民俗文化財の保持団体等に対し、文化庁の補助事業を周知し、昨年度を上回る活用実績があった。</li> <li>・令和4年度に新たに大田市の文化財保存活用計画が文化庁に認定され、5市町が策定済みとなった。</li> <li>・作成した島根県文化財防災・防犯マニュアルについて市町村及び文化財所有者に説明するとともに、文化財防災に関する博物館職員向けの研修に協力するなど、文化財防災に関する知識・技術の習得を支援した。</li> </ul> |
| 課題分析 | ① 課題                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・神楽等の無形民俗文化財の保持団体等は、後継者不足で、継承が困難な状況にある。</li> <li>・市町村によっては、文化財の調査研究、保存・継承、活用が難しい状況にある。</li> </ul>   |
|      | ② 原因                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動のための経費負担がかかることや、コロナ禍でのイベント中止等により練習や発表の機会が減少した。</li> <li>・文化財専門職員の不在等により、専門的見地による文化財の管理が十分にできない。</li> </ul>   |
|      | ③ 方向性                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村や無形民俗文化財の保持団体等に対し、引き続き文化庁の補助事業(衣装等修理や公開支援など)を周知し、活用を促す。</li> <li>・国や県文化財保護審議会委員等の専門家による意見を踏まえ、市町村の文化財管理が適切に行われるよう支援する。</li> <li>・大綱の基本的な考え方を市町村と共有し、文化財保存活用地域計画作成中の市町村からの求めに応じ必要な助言、協力を行う。</li> </ul>   |

## 事務事業評価シート

## 1 事務事業の概要

担当課

文化財課

|                        |  |                           |                |           |             |
|------------------------|--|---------------------------|----------------|-----------|-------------|
| 事務事業の名称                |  | 歴史遺産保存整備事業                |                |           |             |
| 目的                     | 誰(何)を対象として   | 県民、文化財所有者・保持団体            | 事業費<br>(千円)    | 令和4年度の実績額 | 令和5年度の当初予算額 |
|                        | どういう状態を目指すのか   | 文化財の損壊や滅失を防ぎ、将来へ確実に継承していく |                | 116,775   | 172,320     |
|                        |  |                           | うち一般財源<br>(千円) | 97,391    | 159,166     |
| 令和5年度の取組内容             | ・国及び県指定の文化財のうち、経年劣化や自然災害等により保存が危ぶまれるものや、技術等の伝承が危ぶまれるものについて、その修理や伝承等に要する経費の一部を助成する。 |                           |                |           |             |
| 令和4年度に行った評価を踏まえて見直したこと | ・市町村と情報共有を図り、概ね5年後までの事業見込を把握の上、特に修理周期を迎える文化財については、集中的に修理が行えるよう調整を行う。               |                           |                |           |             |
| 1                      | 上位の施策  | VI-4-(2) 文化財の保存・継承と活用     | 3              | 上位の施策     |             |
| 2                      | 上位の施策  |                           | 4              | 上位の施策     |             |

## 2 KPI(重要業績評価指標)の状況

| KPIの名称                |   | 年度  | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 単位 | 計上分類 |
|-----------------------|---|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----|------|
| 1                     | 歴史遺産保存整備の補助要望に対する採択割合【当該年度4月～3月】  | 目標値 |       | 87.0  | 87.0  | 87.0  | 87.0  | 87.0  | %  | 単年度値 |
|                       |   | 実績値 | 86.3  | 95.2  | 86.9  | 89.7  |       |       |    |      |
|                       |   | 達成率 | —     | 109.5 | 99.9  | 103.2 | —     | —     |    |      |
| 2                     |   | 目標値 |       |       |       |       |       |       |    |      |
|                       |   | 実績値 |       |       |       |       |       |       |    |      |
|                       |   | 達成率 | —     | —     | —     | —     | —     | —     |    |      |
| KPIの他に参考とすべきデータや客観的事実 | 前年度6月の補助要望件数に対する採択件数が占める割合<br>R01年度事業分 19件/22件(86.3%)<br>R02年度 20件/21件(95.2%)<br>R03年度 20件/23件(86.9%)<br>R04年度 26件/29件(89.7%) |     |       |       |       |       |       |       |    |      |

## 3 現状に対する評価

|      |                      |   |
|------|----------------------|---|
| 成果   | 「目的」の達成に向けた取組による改善状況 | ・指定文化財の保存修理について、計画的に進めている。<br>・保存修理後は、建造物を一般向けに公開するなど、地域資源としても活用されている。<br>(令和4年度で完了した事業)国宝 神魂神社防災施設整備、重要文化財 佐々木家住宅保存修理、県指定文化財 永明寺保存修理など<br>(継続して実施している事業)国宝 松江城天守防災施設整備、重要無形文化財 石州半紙文化財伝承、県指定文化財 金谷の城山桜再生など                                 |
| 課題分析 | ① 課題                 | ・指定文化財の個人所有者が保存修理や維持管理、耐震対策等を行う場合、多額の自己負担が生じる。<br>・保存修理を要する文化財(建造物)が多数ある。   |
|      | ② 原因                 | ・文化財の保存修理はその性質上、材料や工法が特殊なため、一般的な修理と比較して費用が嵩む。<br>・経年劣化による建造物の保存修理のほか、耐震化工事を要するものがある。  |
|      | ③ 方向性                | ・文化財の傷みが進行すると保存修理費用が増大することに鑑み、市町村の協力のもと、随時所有者と関係機関で保存状態を情報共有し、適時に文化庁の専門職員の調査派遣を要請するなど、計画的に修理が行われるよう支援する。<br>・実施事業の進捗管理を市町村とともに進め、事業内容や事業費について適切な計画変更が行われるよう支援する。<br>・事業計画について、市町村及び所有者と綿密な協議を行い、概ね5年後までの中長期的な事業計画を把握した上で、適切な事業実施ができるよう支援する。 |

# 事務事業評価シート

## 1 事務事業の概要

担当課 文化財課

|                       |              |   |                |           |             |
|-----------------------|--------------|---|----------------|-----------|-------------|
| 事務事業の名称               |              | 八雲立つ風土記の丘事業   |                |           |             |
| 目的                    | 誰(何)を対象として   | 県民及び県外からの利用者  | 事業費<br>(千円)    | 令和4年度の実績額 | 令和5年度の当初予算額 |
|                       | どういう状態を目指すのか | 風土記の丘地内の史跡や文化財を通して県内の文化財への興味・関心を高め、文化財を身近なものと感じてもらおう。   |                | 67,639    | 66,604      |
|                       |              |   | うち一般財源<br>(千円) | 66,226    | 65,097      |
| 令和5年度の取組内容            |              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ、SNS等を活用した情報発信、史跡音声ガイド端末や電動アシスト自転車による利用促進を図る。</li> <li>・近隣学校及び公民館の行事受け入れ、大・小さまざまなイベントの開催、魅力的な展覧会を開催する。</li> <li>・展示内容の充実、複数ある施設の維持・管理・運営を確実に行う。</li> <li>・郷土の歴史を深く学ぶため、年に12回の講演会を開催するなど、普及事業を行う。</li> </ul> |                |           |             |
| 令和4年度に行った評価を踏まえて見直した点 |              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・風土記の丘の拠点施設としての機能を発揮するため、史跡マップを活用し、利用者に地内の周遊を促す。</li> <li>・幅広い年齢層の利用を促進し、風土記の丘の周知を図るため、「こどもまつり」では大人と子どもが一緒に楽しめるメニューを複数用意した。</li> </ul>   |                |           |             |
| 1                     | 上位の施策        | VI-4-(2) 文化財の保存・継承と活用   | 3              | 上位の施策     |             |
| 2                     | 上位の施策        |   | 4              | 上位の施策     |             |

## 2 KPI(重要業績評価指標)の状況

| KPIの名称                |  | 年度   | 令和元年度    | 令和2年度    | 令和3年度    | 令和4年度    | 令和5年度    | 令和6年度    | 単位 | 計上分類 |
|-----------------------|--|--|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----|------|
| 1                     | 八雲立つ風土記の丘展示学習館、山代二子塚土層見学施設、ガイダンス山代の郷の入館者数【当該年度4月～3月】 | 目標値  |          | 24,000.0 | 24,000.0 | 24,000.0 | 24,000.0 | 24,000.0 | 人  | 単年度値 |
|                       |  | 実績値  | 23,811.0 | 14,539.0 | 16,058.0 | 22,203.0 |          |          |    |      |
|                       |  | 達成率  | —        | 60.6     | 67.0     | 92.6     | —        | —        |    |      |
| 2                     |  | 目標値  |          |          |          |          |          |          |    |      |
|                       |  | 実績値  |          |          |          |          |          |          |    |      |
|                       |  | 達成率  | —        | —        | —        | —        | —        | —        |    |      |
| KPIの他に参考とすべきデータや客観的事実 |  | 入館者推移①県内(R2年度 62%、R3年度 53%、R4年度 54%) ②初めての来場(R2 54%、R3 51%、R4 54%)、2～4回(R2 25%、R3 32%、R4 27%)、5回以上(R2 21%、R3 17%、R4 19%)<br>・企画展開催数(展示学習館(企画展4回13,343人)、ガイダンス山代の郷(ロビー展2回1,329人)、風土記の丘教室(420人)、こどもまつり(4,000人)、月の宴(270人)などを実施。Youtube(総再生回数12,035回(R5.5.26時点)) |          |          |          |          |          |          |    |      |

## 3 現状に対する評価

|      |                      |   |
|------|----------------------|---|
| 成果   | 「目的」の達成に向けた取組による改善状況 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「こどもまつり」は、勾玉づくりや紙芝居など、親子で楽しめるメニューを複数用意した。3年ぶりに新型コロナウイルス感染症の行動制限がなかったことなどが影響し、2日間で計4,000人(過去最大)の来客があった。</li> <li>・開所50周年の関連事業として松江市と連携し、県市4つの施設が一斉に古代出雲に関する展覧会を開催した。八雲立つ風土記の丘では、特別展「出雲・石見・隠岐の古墳文化」を開催した(入館者数は3,857人)。</li> </ul> |
| 課題分析 | ① 課題                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・R3年度と比較して入館者数は38%増加したが、コロナ禍前までは回復していない。</li> <li>・復原竪穴住居の劣化が進んでいる。</li> </ul>   |
|      | ② 原因                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺の史跡や文化財との一体的な集客の取組が不十分である。</li> <li>・経年による劣化(昭和47年度に設置してから約50年が経過)</li> </ul>   |
|      | ③ 方向性                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページやSNSでの情報発信等により、八雲立つ風土記の丘が、地内のガイダンス機能を持つ拠点施設であることを引き続き周知し、来館者により一層、史跡に親しんでもらえるよう、史跡マップ、音声ガイド、電動自転車等の利用を促す。</li> <li>・復原竪穴住居の修繕を検討する。</li> </ul>  |

## 事務事業評価シート

## 1 事務事業の概要

担当課

文化財課

|                        |              |  |                |           |             |  |
|------------------------|--------------|--|----------------|-----------|-------------|--|
| 事務事業の名称                |              | 古墳の丘古曾志公園事業  |                |           |             |  |
| 目的                     | 誰(何)を対象として   | 県民及び県外からの利用者   | 事業費<br>(千円)    | 令和4年度の実績額 | 令和5年度の当初予算額 |  |
|                        | どういう状態を目指すのか | 公園内の古墳に触れることで、島根の古代の歴史文化に親しみを持ってもらう。   |                | 30,588    | 6,792       |  |
|                        |              |  | うち一般財源<br>(千円) | 6,958     | 6,773       |  |
| 令和5年度の取組内容             |              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の安全確保のために、施設の適切な維持管理を行う。</li> <li>・良好な利用環境確保のため、設備の修繕に努める。</li> <li>・地元公民館や埋蔵文化財調査センター等の協力を得て、各種イベントの開催や学校等への広報活動を積極的に行い、施設(史跡)への理解を深める。</li> </ul> |                |           |             |  |
| 令和4年度に行った評価を踏まえて見直したこと |              | ・野外ステージ進入路の補修、大塚古墳進入路バリカー取替を実施する。  |                |           |             |  |
| 1                      | 上位の施策        | VI-4-(2) 文化財の保存・継承と活用  | 3              | 上位の施策     |             |  |
| 2                      | 上位の施策        |  | 4              | 上位の施策     |             |  |

## 2 KPI(重要業績評価指標)の状況

| KPIの名称                |                            | 年度  | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 単位 | 計上<br>分類 |
|-----------------------|----------------------------|---|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----|----------|
| 1                     | 古墳の丘古曾志公園事故発生件数【当該年度4月～3月】 | 目標値   |       | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 件  | 単年度<br>値 |
|                       |                            | 実績値   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   |       |       |    |          |
|                       |                            | 達成率   | —     | —     | —     | —     | —     | —     | %  |          |
| 2                     |                            | 目標値   |       |       |       |       |       |       |    |          |
|                       |                            | 実績値   |       |       |       |       |       |       |    |          |
|                       |                            | 達成率   | —     | —     | —     | —     | —     | —     | %  |          |
| KPIの他に参考とすべきデータや客観的事実 |                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・コスト削減のため、教育機能を持った公園としての位置付けを平成19年度から変更して一般の公園として開放している。</li> <li>・指定管理者により園内は良好な環境に保たれているが、建築物・構造物・備品共に老朽化が進行している。</li> </ul> |       |       |       |       |       |       |    |          |

## 3 現状に対する評価

|      |                      |  |
|------|----------------------|--|
| 成果   | 「目的」の達成に向けた取組による改善状況 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・野外ステージのベンチ木部再塗装を完了させ、良好な利用環境の回復を行った。</li> <li>・大雨による法面の亀裂発生箇所及び崩落箇所の原状復旧工事を完了した。</li> </ul>      |
| 課題分析 | ① 課題                 | ・建築物や構造物の発錆劣化や機器の故障等、全般的に老朽化が進行している。   |
|      | ② 原因                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・開園後30余年を経過</li> <li>・経費的な問題で抜本的な修繕が困難</li> </ul>   |
|      | ③ 方向性                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な園内の見回りや施設の保守点検により、利用者の安全確保を図る。</li> <li>・老朽化した個別施設、機器ごとに、安全性や費用対効果をふまえ今後の対応を検討する。</li> </ul> |

# 事務事業評価シート

## 1 事務事業の概要

担当課

文化財課

|                        |   |   |                |           |             |
|------------------------|---|---|----------------|-----------|-------------|
| 事務事業の名称                |   | 古代出雲歴史博物館管理運営事業   |                |           |             |
| 目的                     | 誰(何)を対象として  | 古代出雲歴史博物館の利用者及び県内外の人々   | 事業費<br>(千円)    | 令和4年度の実績額 | 令和5年度の当初予算額 |
|                        | どういう状態を目指すのか  | 島根の歴史文化に関する研究成果の発信、学習・交流機会の提供により、県内外の方々に島根の歴史文化の魅力を発信し、理解してもらう。 |                | 489,968   | 400,545     |
|                        |   |   | うち一般財源<br>(千円) | 411,410   | 319,617     |
| 令和5年度の取組内容             | <ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度は、(夏)近世交通史、(秋)出雲と伊勢、(春)古代隠岐の3つの展覧会を開催</li> <li>常設展示では、丁銀の通期展示や収蔵品を公開</li> <li>企画展・特別展時における講演会・講座や出前講座・講師派遣、歴博夏祭りなど各種イベント等を実施</li> <li>来館者アンケートを実施し、利用しやすい快適な施設運営と効果的な広報に活用</li> <li>ミニ企画展示として、2ヶ月ごとにテーマを変えながら、収蔵品や寄託資料など、常設展では公開していない資料を展示</li> </ul> |   |                |           |             |
| 令和4年度に行った評価を踏まえて見直したこと | <ul style="list-style-type: none"> <li>小中高等学校利用の促進を図るため、引き続き、校長会や学校関係者、旅行社等へ働きかける。</li> <li>出雲大社を訪れる個人客・マイカー客を取り込むため、Instagram、フェイスブック等のSNSでの広報・宣伝活動を実施する。</li> </ul>   |   |                |           |             |
| 1                      | 上位の施策   | Ⅵ-4-(2) 文化財の保存・継承と活用  | 3              | 上位の施策     |             |
| 2                      | 上位の施策   | Ⅲ-2-(1) 牽引力のある都市部の発展  | 4              | 上位の施策     |             |

## 2 KPI(重要業績評価指標)の状況

| KPIの名称                |                          | 年度   | 令和元年度     | 令和2年度     | 令和3年度     | 令和4年度     | 令和5年度     | 令和6年度     | 単位 | 計上分類 |
|-----------------------|--------------------------|--|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|----|------|
| 1                     | 古代出雲歴史博物館入館者数【当該年度4月～3月】 | 目標値  |           | 240,000.0 | 180,000.0 | 200,000.0 | 240,000.0 | 240,000.0 | 人  | 単年度値 |
|                       |                          | 実績値  | 170,798.0 | 94,842.0  | 103,977.0 | 148,339.0 |           |           |    |      |
|                       |                          | 達成率  | —         | 39.6      | 57.8      | 74.2      | —         | —         |    |      |
| 2                     |                          | 目標値  |           |           |           |           |           |           |    |      |
|                       |                          | 実績値  |           |           |           |           |           |           |    |      |
|                       |                          | 達成率  | —         | —         | —         | —         | —         | —         |    |      |
| KPIの他に参考とすべきデータや客観的事実 |                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>出雲大社の入込客：(コロナ禍前)600万人程度、(令和2年度)約400万人、(令和4年度)コロナ禍前程度に回復</li> <li>入館者数：(平成30年度)24万人、(令和2年度)緊急事態宣言による休館あり</li> <li>修学旅行等の学校団体利用：(平成30年度)86校、4,466名、(令和3年度)266校、14,896名、(令和4年度)170校、10,099名</li> </ul> |           |           |           |           |           |           |    |      |

## 3 現状に対する評価

|      |                      |  |
|------|----------------------|--|
| 成果   | 「目的」の達成に向けた取組による改善状況 | <ul style="list-style-type: none"> <li>開館15周年特別展では、ハニワの造形のおもしろさに注目した展示形式とし、また学芸員の見解解説キャプション等の作成など、新たな展示手法を用いることで、子供を含め30代までの比較的若い層の入館者が5割を占めた。</li> <li>出雲市観光協会と連携しアニメツアー企画に引き続き参加し、新たな客層を獲得した。</li> <li>観光庁の多言語解説整備支援事業により歴博の概要看板(英語翻訳)の作成やHPの主要展示の解説(中国語翻訳)を行った。</li> <li>展示関連講座を12回(1,060人聴講)、その他の講座・シンポジウムを2回(106人聴講)、展示関連イベントを3回(47人参加)実施した。</li> </ul> |
| 課題分析 | ① 課題                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>出雲大社入込客数は回復しつつあるが、当館の入館者数は令和4年度においてもコロナ禍前(H30)の6割と、出雲大社の入込客を十分に取込めていない。特に、募集型団体旅行客の減少が大きい。</li> <li>個人 H30年度 約22万人 → R4年度 約13万人(-40%)</li> <li>団体旅行(学校除く) H30年度 約2万人 → R4年度 約4千人(-80%)</li> <li>常設展の展示が、児童生徒の社会科学習で利用しづらい内容となっている。</li> </ul>   |
|      | ② 原因                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>出雲大社の入込客は、団体客が減少し、マイカー・レンタカー等の車利用の個人客が増加するなど、客層が変化している。</li> <li>展示室の展示が、社会科学習に沿った通史方式になっていない。</li> </ul>   |
|      | ③ 方向性                | <ul style="list-style-type: none"> <li>出雲大社を訪れる個人客に対し、引き続き、SNSを使った情報発信を行う。</li> <li>マイカー客の割合が高くなったことから、道の駅、主要SA・PA等交通拠点での誘客、出雲大社入込客を取り込むための誘客を積極的に実施する。</li> <li>令和7年4月から予定している天井耐震改修等の工事に伴う長期休館中の展示内容の魅力アップを検討する。</li> <li>また、再オープン後の来館者増加のための情報発信方法等を検討する。</li> </ul>  |



# 事務事業評価シート

## 1 事務事業の概要

|     |      |
|-----|------|
| 担当課 | 文化財課 |
|-----|------|

|                        |  |   |                |           |             |
|------------------------|--|---|----------------|-----------|-------------|
| 事務事業の名称                |  | 埋蔵文化財保護事務   |                |           |             |
| 目的                     | 誰(何)を対象として   | 県民及び開発事業者   | 事業費<br>(千円)    | 令和4年度の実績額 | 令和5年度の当初予算額 |
|                        | どういう状態を目指すのか   | 開発に際し貴重な文化財が破壊あるいは消失しないよう、計画段階で必要な協議を行い、適切な対応が取られるようにする |                | 2,423     | 2,622       |
|                        |  |   | うち一般財源<br>(千円) | 2,423     | 2,622       |
| 令和5年度の取組内容             | <ul style="list-style-type: none"> <li>埋蔵文化財の保護に必要な措置を図るため、土地の開発に際して文化財保護法に基づく審査</li> <li>埋蔵文化財発掘調査を実施する市町村に対し、必要に応じた技術的支援・指導の実施</li> <li>遺跡の内容に応じた保存方法等、取扱に関する協議</li> <li>遺跡台帳・リスト・GIS情報の最新化及び周知</li> </ul> |   |                |           |             |
| 令和4年度に行った評価を踏まえて見直したこと | <ul style="list-style-type: none"> <li>遺跡台帳の情報整理と最新情報への更新を市町村と連携して最新の情報を共有する</li> <li>GIS情報システムの更新が出来る担当者を増やして情報更新の速度を上げる</li> <li>市町村と連携し、開発事業者に対して埋蔵文化財に関する手続きの周知徹底を図り、無届け工事発生の防止に努める</li> </ul>           |   |                |           |             |
| 1                      | 上位の施策  | VI-4-(2) 文化財の保存・継承と活用                                   | 3              | 上位の施策     |             |
| 2                      | 上位の施策  |   | 4              | 上位の施策     |             |

## 2 KPI(重要業績評価指標)の状況

| KPIの名称                |                                  | 年度  | 令和元年度    | 令和2年度    | 令和3年度    | 令和4年度    | 令和5年度    | 令和6年度    | 単位 | 計上分類 |
|-----------------------|----------------------------------|---|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----|------|
| 1                     | 計画段階で協議を経ず着工する開発事業の件数【当該年度4月～3月】 | 目標値   |          | 0.0      | 0.0      | 0.0      | 0.0      | 0.0      | 件  | 単年度値 |
|                       |                                  | 実績値   | 1.0      | 1.0      | 3.0      | 1.0      |          |          |    |      |
|                       |                                  | 達成率   | —        | —        | —        | —        | —        | —        |    |      |
| 2                     | 県内における周知の埋蔵文化財包蔵地の数【当該年度3月時点】    | 目標値   |          | 11,500.0 | 11,510.0 | 11,520.0 | 11,530.0 | 11,540.0 | 件  | 累計値  |
|                       |                                  | 実績値   | 11,491.0 | 11,509.0 | 11,518.0 | 11,529.0 |          |          |    |      |
|                       |                                  | 達成率   | —        | 100.1    | 100.1    | 100.1    | —        | —        |    |      |
| KPIの他に参考とすべきデータや客観的事実 |                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>KPI「計画段階で協議を経ず着工する開発事業の件数」とは、周知の埋蔵文化財包蔵地において開発行為を行う場合、法令等の規定に基づき事前の届出が必要とされているが、これを行わずに着工したものの件数。</li> <li>KPI「県内における周知の埋蔵文化財包蔵地の数」とは、文化財保護法第96条又は第97条に基づく、新たに発見された遺跡に係る届出等の累計。</li> </ul> |          |          |          |          |          |          |    |      |

## 3 現状に対する評価

|      |                      |  |
|------|----------------------|--|
| 成果   | 「目的」の達成に向けた取組による改善状況 | <ul style="list-style-type: none"> <li>市町村と県で遺跡の情報共有・最新情報への修正を行い、できる限り早くGISへの反映を進めた。</li> <li>開発前の事前協議が確実に行われるようHPIに「埋蔵文化財の保護に関する手続きの流れ」を掲載し、さらに市町村と連携し、周知徹底を図った。</li> </ul>   |
| 課題分析 | ① 課題                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>GIS上で遺跡情報の更新がされていない場所がある。</li> <li>遺跡台帳上で、過去に把握された遺跡情報とその後の遺跡情報が整理・更新されていないものがあるため、開発区域内の遺跡の保護等に関する取扱協議に支障をきたす恐れがある。</li> <li>開発事業者が「埋蔵文化財の保護に関する手続きの流れ」を理解していない場合があり、事前の届け出を怠った事例が生じている。</li> </ul>          |
|      | ② 原因                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>市町村と県、それぞれで遺跡台帳の管理や情報更新が十分ではない。</li> <li>開発事業者への「埋蔵文化財保護に関する手続きの流れ」の周知が未だ十分ではない。</li> </ul>   |
|      | ③ 方向性                | <ul style="list-style-type: none"> <li>統合型GISの操作研修を受講することで、統合型GISの操作ができる担当者を増やし、GISの遺跡情報の更新の速度を上げる。</li> <li>遺跡台帳上で、過去に把握された遺跡情報とその後の遺跡情報の整理・更新について、市町村と連携することで、作業効率をあげる。</li> <li>開発事業に係る最初の窓口である市町村に対して、担当者会議等の場を活用し、改めて事業者への周知徹底を依頼する。</li> </ul> |

# 事務事業評価シート

## 1 事務事業の概要

担当課

文化財課

|                        |               |   |                |           |             |  |
|------------------------|---------------|---|----------------|-----------|-------------|--|
| 事務事業の名称                |               | 文化財活用事業   |                |           |             |  |
| 目的                     | 誰(何)を対象として    | 県民  | 事業費<br>(千円)    | 令和4年度の実績額 | 令和5年度の当初予算額 |  |
|                        | どのような状態を目指すのか | 子どもから高齢者まで幅広い世代に島根の歴史文化を学習する機会を積極的に提供し、ふるさとを誇りに思う心を醸成することで、県民の心の豊かさの向上に寄与する。  |                | 3,227     | 3,433       |  |
|                        |               |   | うち一般財源<br>(千円) | 2,088     | 2,217       |  |
| 令和5年度の取組内容             |               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・心に残る文化財子ども塾：県内の小中学校及び特別支援学校を対象とした古代体験活動や遺跡見学等の出前事業</li> <li>・いにしえ倶楽部：子どもや子育て世代を対象とした体験及び一般を対象とした座学講座</li> <li>・発掘調査現地説明会：発掘調査現場を一般公開する現地説明会</li> <li>・デジタルガイド：県内の主要な古墳を対象としたデジタルガイドを県HP上で作成し、現地にQRコードを設置</li> <li>・『文化財活用指南書』の作成：県民が文化財を利活用する際に必要な情報・手続きを記載し、活用を促進するパンフレット</li> </ul> |                |           |             |  |
| 令和4年度に行った評価を踏まえて見直したこと |               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験イベントの実施回数を増やし、子どもや子育て世代が歴史文化を学習する機会をさらなる提供を行う。</li> <li>・ガイドブックのHP更新やデジタルコンテンツを制作し、多様なしまねの歴史文化に関する学習機会の提供を行う。</li> </ul>  |                |           |             |  |
| 1                      | 上位の施策         | VI-4-(2) 文化財の保存・継承と活用   | 3              | 上位の施策     |             |  |
| 2                      | 上位の施策         |   | 4              | 上位の施策     |             |  |

## 2 KPI(重要業績評価指標)の状況

| KPIの名称                |   | 年度  | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 単位 | 計上<br>分類 |
|-----------------------|---|---|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----|----------|
| 1                     | 子ども塾、いにしえ倶楽部、まちあるきイベント等の行事開催件数【当該年度4月～3月】 | 目標値   |       | 45.0  | 45.0  | 45.0  | 45.0  | 45.0  | 件  | 単年度<br>値 |
|                       |   | 実績値   | 42.0  | 30.0  | 42.0  | 42.0  |       |       |    |          |
|                       |   | 達成率   | —     | 66.7  | 93.4  | 93.4  | —     | —     |    |          |
| 2                     |   | 目標値   |       |       |       |       |       |       |    |          |
|                       |   | 実績値   |       |       |       |       |       |       |    |          |
|                       |   | 達成率   | —     | —     | —     | —     | —     | —     |    |          |
| KPIの他に参考とすべきデータや客観的事実 |   | ・「心に残る文化財子ども塾」の実施状況：(平成30年度)応募30校、計画28校、実施28校<br>(令和元年度)応募28校、計画25校、実施25校<br>(令和2年度)応募25校、計画25校、実施22校(コロナで3校辞退)<br>(令和3年度)応募30校、計画28校、実施28校<br>(令和4年度)応募46校、計画28校、実施28校 |       |       |       |       |       |       |    |          |

## 3 現状に対する評価

|      |                      |   |
|------|----------------------|---|
| 成果   | 「目的」の達成に向けた取組による改善状況 | 体験イベントの内容や情報発信の方法を工夫して、子どもを含めた幅広い世代の方に向けて、歴史文化を学習する機会を提供した。<br>※ 子育て世代向けのイベント「いにしえ倶楽部夏休み子どもスペシャル」における新たな企画の開催<br>※ 史跡ガイドブックのHP掲載<br>※ ドローン撮影による新たな文化財の魅力を盛り込んだ映像コンテンツを作成し、しまねっこチャンネルで配信 |
| 課題分析 | ① 課題                 | ・子どもや子育て世代向けのイベント参加者が伸びていない。<br>・個人や少数で歴史文化を学習できる機会の提供が少ない状況である。<br>・県民が自ら文化財を利活用することが少ない。  |
|      | ② 原因                 | ・子どもや子育て世代を対象としたイベント実施回数が少なかった。<br>・参加者を集めて開催する講座や日時限定のイベントが主体となるため、個人や少数などの個別都合で参加できる学習機会の提供が不十分である。<br>・県民が文化財を利活用するための情報が少ない。  |
|      | ③ 方向性                | ・引き続き、幅広い世代の県民(特に子どもや子育て世代)に対して歴史文化を学習できる機会を提供する。<br>・個人や少数でも歴史文化を学習する機会を提供するため、引き続きデジタルコンテンツ化を進める。<br>・文化財を利活用するためのパンフレット「活用指南書」を作成し、県内市町村教育委員会や観光関係団体等に配付し周知を図る。                      |

# 事務事業評価シート

## 1 事務事業の概要

担当課

文化財課

|                        |              |  |                |           |             |  |
|------------------------|--------------|--|----------------|-----------|-------------|--|
| 事務事業の名称                |              | 埋蔵文化財調査センター事業  |                |           |             |  |
| 目的                     | 誰(何)を対象として   | 県民・公共事業者   | 事業費<br>(千円)    | 令和4年度の実績額 | 令和5年度の当初予算額 |  |
|                        | どういう状態を目指すのか | 開発事業地内の埋蔵文化財調査を行いその価値を明らかにし、調査で得た情報を県民に還元すると同時に、開発事業と文化財保護との調整を円滑に行い、適正な公共事業の促進を図る。  |                | 391,972   | 297,643     |  |
|                        |              |  | うち一般財源<br>(千円) | 41,386    | 37,220      |  |
| 令和5年度の取組内容             |              | <ul style="list-style-type: none"> <li>国土交通省や県土木部等が行う公共事業予定地の埋蔵文化財調査(分布・試掘調査、発掘調査)を実施する。</li> <li>埋蔵文化財関係資料を有効活用するため、埋蔵文化財調査センター施設・設備の維持管理を行い、収蔵する遺物や図書等の関係資料を適切に管理する。</li> <li>しまねの埋蔵文化財への理解を深めてもらうために、発掘調査の成果や文化財関連事業について、県民に対して広く周知する。</li> </ul> |                |           |             |  |
| 令和4年度に行った評価を踏まえて見直したこと |              | 関係機関の協力を得て、効果的・効率的な調査が可能となるように密接に連絡調整を実施する。  |                |           |             |  |
| 1                      | 上位の施策        | VI-4-(2) 文化財の保存・継承と活用  | 3              | 上位の施策     |             |  |
| 2                      | 上位の施策        |  | 4              | 上位の施策     |             |  |

## 2 KPI(重要業績評価指標)の状況

| KPIの名称                |                              | 年度   | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 単位 | 計上分類 |
|-----------------------|------------------------------|--|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----|------|
| 1                     | 発掘調査が円滑に行われなかった件数【当該年度4月～3月】 | 目標値  |       | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 件  | 単年度値 |
|                       |                              | 実績値  | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   |       |       |    |      |
|                       |                              | 達成率  | —     | —     | —     | —     | —     | —     | %  |      |
| 2                     |                              | 目標値  |       |       |       |       |       |       |    |      |
|                       |                              | 実績値  |       |       |       |       |       |       |    |      |
|                       |                              | 達成率  | —     | —     | —     | —     | —     | —     | %  |      |
| KPIの他に参考とすべきデータや客観的事実 |                              | KPI「発掘調査が円滑に行われなかった件数」とは、年度内の事業完了が出来ず、事業期間の延長などが誘発された場合の件数<br>・令和5年度分布調査予定 2事業<br>(松江北道路・江の川改修)<br>・令和5年度試掘確認調査 5事業48地区<br>(大橋川改修2か所、江の川改修3か所、益田西道路150か所、浜田道4車線化3か所、松江北道路13か所) |       |       |       |       |       |       |    |      |

## 3 現状に対する評価

|      |                      |  |   |
|------|----------------------|--|---|
| 成果   | 「目的」の達成に向けた取組による改善状況 | <ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関との連絡調整を踏まえて行った分布・試掘調査により、見込まれる発掘調査量を事前に把握し、把握量をもとに体制を整え、円滑な調査を実施した。</li> <li>発掘調査の成果については、現地公開やパンフレットの作成・配布を行い、広く情報発信した。</li> <li>※ 発掘調査を実施した松江、江津、雲南の3市(6遺跡)で現地公開を行い、約340名参加</li> <li>※ パンフレット「しまねの遺跡 発掘調査パンフレット12 森原下ノ原遺跡」を3000部作成、地元公民館等へ配布</li> <li>※ 「ドキ土器埋文 Web版No.2」を作成し、ホームページ上で公開</li> </ul> |   |
| 課題分析 | ① 課題                 | 「目的」達成のため(又は達成した状態を維持するために)支障となっている点   | 発掘調査量を把握するための分布・試掘調査を迅速に実施することが困難になりつつある。   |
|      | ② 原因                 | 上記①(課題)が発生している原因   | 山陰自動車道(益田西道路)に加え、新たに松江北道路が事業化される等、開発事業の増加に伴い、分布・試掘調査の実施数も増すため。                      |
|      | ③ 方向性                | 上記②(原因)の解決・改善に向けた見直し等の方向性  | 国土交通省や島根県土木部などの関係機関との連絡調整会議の回数を増加する等、情報交換を密接に行い、発掘調査の円滑な実施が可能となるように分布・試掘調査実施の調整を図る。 |

# 事務事業評価シート

## 1 事務事業の概要

担当課

文化財課

|                        |              |  |                |           |             |
|------------------------|--------------|--|----------------|-----------|-------------|
| 事務事業の名称                |              | 古代文化の郷「出雲」整備事業   |                |           |             |
| 目的                     | 誰(何)を対象として   | 県内外の人々   | 事業費<br>(千円)    | 令和4年度の実績額 | 令和5年度の当初予算額 |
|                        | どういう状態を目指すのか | 八雲立つ風土記の丘地内の史跡等の魅力向上を図るとともに、出雲部に存在する多様な文化遺産をネットワーク化し、歴史探訪ルートを設定して、野外博物館として活用してもらう  |                | 16,671    | 22,819      |
|                        |              |  | うち一般財源<br>(千円) | 9,588     | 12,846      |
| 令和5年度の取組内容             |              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・八雲立つ風土記の丘展示学習館周辺の周遊ルートマップを作成して利用を図る。</li> <li>・子供用の八雲立つ風土記の丘地内の古墳パンフレットを作成して利用を図る。</li> <li>・八雲立つ風土記の丘地内に設置した史跡のサインを更新し、来訪者の史跡についての理解を図る。</li> <li>・八雲立つ風土記の丘を代表する史跡である出雲国府跡については、今後の整備活用を図るために発掘調査を実施する。</li> </ul> |                |           |             |
| 令和4年度に行った評価を踏まえて見直したこと |              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・八雲立つ風土記の丘展示学習館周辺の史跡について、来訪者の周遊を促す取組を行う</li> <li>・大人向けの取組に偏っていることから、子供の利便性を高める取組を行う。</li> <li>・八雲立つ風土記の丘地内のサインが老朽化したため、最新の情報を踏まえた分かりやすい内容に更新する。</li> </ul>  |                |           |             |
| 1                      | 上位の施策        | VI-4-(2) 文化財の保存・継承と活用  | 3              | 上位の施策     |             |
| 2                      | 上位の施策        |  | 4              | 上位の施策     |             |

## 2 KPI(重要業績評価指標)の状況

| KPIの名称                |  | 年度  | 令和元年度     | 令和2年度     | 令和3年度     | 令和4年度     | 令和5年度     | 令和6年度     | 単位 | 計上分類 |
|-----------------------|--|---|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|----|------|
| 1                     | 文化財活用度(出雲地域の代表的な史跡等(松江城など8か所)の来訪者数)【当該年度4月～3月】 | 目標値   |           | 638,000.0 | 319,000.0 | 479,000.0 | 638,000.0 | 638,000.0 | 人  | 単年度値 |
|                       |  | 実績値   | 637,755.0 | 367,363.0 | 351,576.0 | 559,706.0 |           |           |    |      |
|                       |  | 達成率   | —         | 57.6      | 110.3     | 116.9     | —         | —         |    |      |
| 2                     |  | 目標値   |           |           |           |           |           |           |    |      |
|                       |  | 実績値   |           |           |           |           |           |           |    |      |
|                       |  | 達成率   | —         | —         | —         | —         | —         | —         |    |      |
| KPIの他に参考とすべきデータや客観的事実 |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・KPIの該当史跡等は、松江城、佐太神社、出雲玉作資料館、安来市歴史民俗資料館、加茂岩倉遺跡、出雲弥生の森博物館、荒神谷博物館、鰐淵寺の8か所</li> <li>・山代二子塚古墳については、ガイダンス山代の郷の機器更新等を実施した</li> <li>・ガイダンス山代の郷周辺の周遊ルートマップを作成した</li> </ul> |           |           |           |           |           |           |    |      |

## 3 現状に対する評価

|      |                      |  |
|------|----------------------|--|
| 成果   | 「目的」の達成に向けた取組による改善状況 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・来訪者が八雲立つ風土記の丘地内の史跡を深く理解するために、ガイダンス山代の郷の展示をリニューアルした。</li> <li>・県内外からの来訪者が八雲立つ風土記の丘地内及び周辺の遺跡を周遊してもらうための環境整備を進めるため、県と松江市や出雲市などと大型古墳の活用を検討を行った。</li> <li>・音声ガイドや電動アシスト自転車を利用する来訪者の増加を図るため、ガイダンス山代の郷周辺の周遊マップを作成した。</li> </ul> |
| 課題分析 | ① 課題                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・展示学習館やガイダンス山代の郷といった展示施設から周辺の史跡への周遊に繋がる、電動アシスト自転車の利用実績が伸び悩んでいる。</li> <li>・県内外からの来訪者が八雲立つ風土記の丘地内の史跡の理解を深めるための資料が不足している。</li> <li>・児童・生徒が八雲立つ風土記の丘地内のサインが来訪者に対して効果的な内容と設置場所でない。</li> </ul>                                  |
|      | ② 原因                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・八雲立つ風土記の丘地内には史跡等が多く、電動アシスト自転車等による周遊に便利な地図等が十分でない。</li> <li>・児童・生徒に向けたパンフレットが配置されていない。</li> <li>・八雲立つ風土記の丘地内のサインが老朽化して見づらいうえ最新の内容となっておらず、市街化により効果的な設置場所でない。</li> </ul>  |
|      | ③ 方向性                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・八雲立つ風土記の丘地内の展示施設から史跡への来訪に便利な周遊マップを作成し、史跡への来訪を促す。</li> <li>・児童・生徒に八雲立つ風土記の丘地内の史跡等を紹介する子供向けパンフレットを作成する。</li> <li>・八雲立つ風土記の丘地内のサインを最新の情報を踏まえた分かりやすい内容に更新するとともに、周遊マップと連携した効果的な設置場所を検討する。</li> </ul>                          |

# 事務事業評価シート

## 1 事務事業の概要

担当課

文化財課

|                        |              |  |                |           |             |  |
|------------------------|--------------|--|----------------|-----------|-------------|--|
| 事務事業の名称                |              | 未来に引き継ぐ石見銀山保全事業  |                |           |             |  |
| 目的                     | 誰(何)を対象として   | 県内外の人々   | 事業費<br>(千円)    | 令和4年度の実績額 | 令和5年度の当初予算額 |  |
|                        | どういう状態を目指すのか | 世界遺産「石見銀山遺跡とその文化的景観」の価値を高め、適切に保存整備し未来に継承しつつ、その価値や魅力について情報を発信し認知度の向上を図る。  |                | 66,497    | 80,042      |  |
|                        |              |  | うち一般財源<br>(千円) | 64,497    | 79,042      |  |
| 令和5年度の取組内容             |              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・石見銀山遺跡の全容究明及び価値を高める基礎調査研究(考古学・歴史民俗学・自然科学)を実施し、成果について調査報告書を刊行するとともに、HPに掲載する。</li> <li>・令和9年の石見銀山発見500年、世界遺産登録20周年を見据え、石見銀山が16世紀の世界経済や国内の鉱山開発に与えた影響など発見からこれまでの歴史をさらに明らかにするテーマ研究を進める。</li> <li>・世界遺産センターでの企画展やオンライン講座の開催等により、県内外に向けた情報発信を行う。</li> <li>・大田市や関係機関等と連携し、史跡等の保存整備や落石対策措置等の支援を継続して行う。</li> </ul> |                |           |             |  |
| 令和4年度に行った評価を踏まえて見直したこと |              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・石見銀山の歴史の転機となるような時代や人物に焦点をあて、一般の方が分かりやすい研究テーマを設定する。</li> <li>・専門的な研究成果を一般や子供たちにわかりやすく伝えるよう、展示や座学に加えて体験を取り入れるなど工夫する。</li> </ul>  |                |           |             |  |
| 1                      | 上位の施策        | Ⅵ-4-(2) 文化財の保存・継承と活用   | 3              | 上位の施策     |             |  |
| 2                      | 上位の施策        | Ⅲ-2-(2) 世界に誇る地域資源の活用   | 4              | 上位の施策     |             |  |

## 2 KPI(重要業績評価指標)の状況

| KPIの名称                |  | 年度   | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 単位 | 計上分類 |
|-----------------------|--|--|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----|------|
| 1                     | 石見銀山遺跡に関する調査研究・保存整備の成果が公開された回数【当該年度4月～3月】              | 目標値  |       | 10.0  | 10.0  | 10.0  | 10.0  | 10.0  | 回  | 単年度値 |
|                       |  | 実績値  | 8.0   | 8.0   | 8.0   | 9.0   |       |       |    |      |
|                       |  | 達成率  | —     | 80.0  | 80.0  | 90.0  | —     | —     | %  |      |
| 2                     | 講座等での参加者アンケートにおいて石見銀山遺跡への興味・関心が高まったと感じた人の割合【当該年度4月～3月】 | 目標値  |       | 95.0  | 95.0  | 95.0  | 95.0  | 95.0  | %  | 単年度値 |
|                       |  | 実績値  | 91.2  | 97.0  | 94.6  | 96.0  |       |       |    |      |
|                       |  | 達成率  | —     | 102.2 | 99.6  | 101.1 | —     | —     | %  |      |
| KPIの他に参考とすべきデータや客観的事実 |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界遺産石見銀山遺跡の首都圏での認知度(しまねの観光認知度調査)は、R元年度33.9%、R2年度34.6%、R3年度32.1%、R4年度33.2%と推移</li> <li>・石見銀山の入込客延べ数は、R元年265,300人、R2年171,000人、R3年度165,400人、R4年度220,100人と推移</li> <li>・県外講座①(オンライン配信申込者数1,420人)、県外講座②(オンライン配信申込者数1,004人)、世界遺産センター・温泉津観光案内所・石見銀山資料館連携企画展(9/29～11/28 3館合計観覧者数10,685人)</li> </ul> |       |       |       |       |       |       |    |      |

## 3 現状に対する評価

|      |                      |  |
|------|----------------------|--|
| 成果   | 「目的」の達成に向けた取組による改善状況 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査研究を着実に進め、その成果を報告書の刊行や企画展の開催等により情報発信した。</li> <li>・オンライン方式での実施などにより全国各地の方々から講座に参加し、興味関心が高まったと感じた人の割合も大きくなっている。</li> <li>・史跡等の保存整備や落石対策が着実に進んでいる。</li> </ul>  |
| 課題分析 | ① 課題                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・以前はICOMOSから提示された課題解決に比較的重点を置いていたため、一般の方々に向けた分かりやすい内容の情報発信、特に若年層が興味・関心を抱くコンテンツの開発・提供が十分ではない。</li> <li>・講座の受講者は増えつつあるものの、年代や地域に偏りがある。</li> <li>・保存整備を行う必要のある史跡等が残されている。</li> </ul>                           |
|      | ② 原因                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・登録時のICOMOSの指摘に対応するため専門性の高い学術的な調査研究を行う必要がある。</li> <li>・史跡等の保存整備にあたっては、大田市や所有者など関係機関等と調整が必要である。</li> </ul>   |
|      | ③ 方向性                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、ICOMOSからの課題も踏まえつつ、一般の方にわかりやすく伝わりやすいテーマを設定した調査研究を着実に実施する。</li> <li>・魅力的なコンテンツの開発に努めるとともに、SNSのほか様々な媒体を活用して周知し、幅広い層の視聴者の獲得に繋げる。</li> <li>・史跡等の保存整備について、今後の計画を共有するなど大田市や関係機関等と連携を進め、支援を継続していく。</li> </ul> |

# 事務事業評価シート

## 1 事務事業の概要

担当課

文化財課

|                        |  |  |                |           |             |
|------------------------|--|--|----------------|-----------|-------------|
| 事務事業の名称                |  | 古代文化研究事業   |                |           |             |
| 目的                     | 誰(何)を対象として   | 県内外の人々   | 事業費<br>(千円)    | 令和4年度の実績額 | 令和5年度の当初予算額 |
|                        | どういった状態を目指すのか  | しまねの特色ある歴史文化について、新たな視点から調査研究を行い、学術的基盤を構築する。研究成果を広く公開して、歴史・文化の魅力を上向きさせることを通じ人々の交流を促す。 |                | 38,932    | 46,509      |
|                        |  |  | うち一般財源<br>(千円) | 36,962    | 43,484      |
| 令和5年度の取組内容             | (1)企画運営委員会（古代文化センターの調査研究事業の方向性を審議する有識者会議）<br>(2)古代文化基礎研究事業 特色ある島根の歴史文化に関する基礎研究。①考古基礎資料調査研究 ②風土記調査研究 ③中世・近世史料の多角的研究 ④祭礼行事調査研究<br>(3)古代文化研究事業(テーマ研究) 基礎研究をもとに、外部研究員を交え3年間の研究、4年目に歴博で企画展を実施<br>(4)調査研究成果の情報発信事業 ①『古代文化研究』②『しまねの古代文化』③テーマ研究報告書などの刊行、および『古代文化研究』の電子公開 |  |                |           |             |
| 令和4年度に行った評価を踏まえて見直したこと | ・古代文化センターの研究成果をまとめた書籍『古代文化研究』のWEB公開の計画的な推進   |  |                |           |             |
| 1                      | 上位の施策  | VI-4-(2) 文化財の保存・継承と活用  | 3              | 上位の施策     |             |
| 2                      | 上位の施策  |  | 4              | 上位の施策     |             |

## 2 KPI(重要業績評価指標)の状況

| KPIの名称                |  | 年度  | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 単位 | 計上<br>分類 |
|-----------------------|--|---|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----|----------|
| 1                     | 古代文化研究事業の成果として「古代文化研究」に掲載された論文数【当該年度4月～3月】 | 目標値   |       | 10.0  | 10.0  | 10.0  | 10.0  | 10.0  | 件  | 単年度<br>値 |
|                       |  | 実績値   | 10.0  | 10.0  | 13.0  | 14.0  |       |       |    |          |
|                       |  | 達成率   | —     | 100.0 | 130.0 | 140.0 | —     | —     |    |          |
| 2                     |  | 目標値   |       |       |       |       |       |       |    |          |
|                       |  | 実績値   |       |       |       |       |       |       |    |          |
|                       |  | 達成率   | —     | —     | —     | —     | —     | —     |    |          |
| KPIの他に参考とすべきデータや客観的事実 |  | ・令和4年度は『古代文化研究』のほかに研究報告として、『出雲神楽の研究』・『出雲と吉備の交流』・『近世近代の交通と地域社会経済』・『出雲国風土記・校訂・注釈編-』の4冊を刊行し、その成果を公開した。 |       |       |       |       |       |       |    |          |

## 3 現状に対する評価

|      |                      |  |
|------|----------------------|--|
| 成果   | 「目的」の達成に向けた取組による改善状況 | ・令和4年度の刊行物『出雲国風土記・校訂・注釈編-』にまとめた研究成果を情報発信にいち早く活かすため、同5年度シンポジウムのテーマとして取り上げる予定である。<br>・『古代文化研究』のバックナンバーの電子化・WEB公開に順次着手しており、公開論文数を増やしつつある。<br>・研究者のみならず、一般の方に対して研究事業に関心を持ってもらうために、ポータルサイトのコンテンツや松江市での講座で、現在取り組んでいる研究成果の速報や中間報告を実施した。 |
| 課題分析 | ① 課題                 | ・『古代文化研究』のWEB公開論文数は既に50本を越えているものの全体からみるとごく一部に過ぎず、十分に利用されているとは言い難い状況にある。  |
|      | ② 原因                 | ・現在のポータルサイトでは、WEB公開論文数が増えるにつれて画面構成が複雑になっており、利用したい論文が探しにくい状態となっている。<br>・論文のWEB公開のためには、論文執筆者や掲載画像の権利者の承諾を公開前に得る必要があるが、承諾を得るのに困難な場合も多く、また多数の権利者との調整に膨大な時間が必要となる。  |
|      | ③ 方向性                | ・ポータルサイトの画面構成を適宜見直すことによって、視聴者が利用したい論文を探しやすい状態にし、利用促進を図る。<br>・過去のWEB未公開論文については、比較的許可が得られやすい論文から優先的に公開を進めて、利用可能な論文数を増やす。<br>・研究成果を一般の方にわかりやすく伝え、歴史文化ファンを増やすために、引き続き、講演会やポータルサイトを通しての研究成果の一般向けの情報発信に努める。                            |

# 事務事業評価シート

## 1 事務事業の概要

担当課

文化財課

|                        |              |   |                |           |                      |
|------------------------|--------------|---|----------------|-----------|----------------------|
| 事務事業の名称                |              | 島根の歴史文化活用推進事業   |                |           |                      |
| 目的                     | 誰(何)を対象として   | 県内外の人々  | 事業費<br>(千円)    | 令和4年度の実績額 | 令和5年度の当初予算額          |
|                        | どういう状態を目指すのか | しまねの豊かな歴史文化の魅力を広く伝え、県民の郷土への自信を培う。県外の方々には、しまねの歴史文化に関心をもってもらうことで、人々の交流を促進する。  |                | 37,642    | 33,974               |
|                        |              |   | うち一般財源<br>(千円) | 37,642    | 33,974               |
| 令和5年度の取組内容             |              | (1) 県民参加型事業(講座) ①島根の歴史文化講座+オンライン ②隠岐国巡回講座 ③石見国巡回講座<br>(2) 県外における情報発信 ①古代出雲文化シンポジウム ②しまねの古代文化連続講座+しまねの古代文化探訪ツアー ③島根の日本遺産動画制作<br>(3) 他県との連携事業 ①古代歴史文化に関する共同調査研究(古代歴史文化にゆかりの深い県との連携) |                |           |                      |
| 令和4年度に行った評価を踏まえて見直したこと |              | ・他県と連携することによって、講座のオンライン配信情報などが広く県外に行き渡るようにするなど、情報発信の強化<br>・歴史文化に関心のある新たなファン層を獲得するため、よりわかりやすく、見やすいコンテンツを制作し、ポータルサイトなどを通して定期的に発信  |                |           |                      |
| 1                      | 上位の施策        | Ⅵ-4-(2) 文化財の保存・継承と活用  | 3              | 上位の施策     | Ⅲ-2-(2) 世界に誇る地域資源の活用 |
| 2                      | 上位の施策        | Ⅰ-2-(2) 観光の振興   | 4              | 上位の施策     |                      |

## 2 KPI(重要業績評価指標)の状況

| KPIの名称                |                                       | 年度  | 令和元年度   | 令和2年度   | 令和3年度   | 令和4年度   | 令和5年度   | 令和6年度   | 単位 | 計上<br>分類 |
|-----------------------|---------------------------------------|---|---------|---------|---------|---------|---------|---------|----|----------|
| 1                     | 島根の歴史・文化に関する講座・シンポジウム等参加人数【当該年度4月～3月】 | 目標値   |         | 5,000.0 | 6,000.0 | 6,000.0 | 9,000.0 | 9,000.0 | 人  | 単年度<br>値 |
|                       |                                       | 実績値   | 4,967.0 | 5,800.0 | 6,643.0 | 8,960.0 |         |         |    |          |
|                       |                                       | 達成率   | —       | 116.0   | 110.8   | 149.4   | —       | —       |    |          |
| 2                     |                                       | 目標値   |         |         |         |         |         |         |    |          |
|                       |                                       | 実績値   |         |         |         |         |         |         |    |          |
|                       |                                       | 達成率   | —       | —       | —       | —       | —       | —       |    |          |
| KPIの他に参考とすべきデータや客観的事実 |                                       | 講座・シンポジウム参加者数内訳<br>R2 総数5,800名 うち会場1,181名(20%)、オンライン4,619名(80%)<br>R3 総数6,643名 うち会場1,170名(18%)、オンライン5,473名(82%)<br>R4 総数8,960名 うち会場2,256名(25%)、オンライン6,704名(75%) |         |         |         |         |         |         |    |          |

## 3 現状に対する評価

|      |                      |  |
|------|----------------------|--|
| 成果   | 「目的」の達成に向けた取組による改善状況 | ・コロナ禍で始めた講座のオンライン配信であったが、島根県を訪れるのが難しい遠方のファンから特に好評であったことから、引き続き対面開催と併用して行っており、年々オンライン受講者が増加しつつある。<br>・「島根の歴史文化講座+オンライン」については、配信期間に制限を設けない取扱に変更したことで、連続講座の後半を視聴して興味を持った受講者が前半も視聴するようになり、連続講座全体の視聴者数が大幅に増加した。<br>・わかりやすいコンテンツを制作し継続的に発信することによって、ポータルサイトの利用者が増加し、講座のオンライン配信の広報を行っていない関西圏でも視聴者数が増加した。 |
| 課題分析 | ① 課題                 | ・オンライン配信の視聴者は順調に増加しているが、視聴している世代はほとんどが中高年層が占め、若年層の割合が低い。<br>・首都圏などの県外でシンポジウムや講座を開催すると多くの人々に来場してもらえるが、それをきっかけに島根に来訪する人は多いとは言えず、交流人口の増加に結びついていない。  |
|      | ② 原因                 | ・若年層が利用する主な情報収集ツールはSNSであるが、SNSによる情報発信が十分ではない。また、ポータルサイトにおいて発信しているコンテンツは、じっくり視聴する中高年層向けの内容のものが中心で、若年層のニーズにマッチしていない。<br>・首都圏でのシンポや講座を開催する際に、来訪動機につながるような仕掛けが十分ではない。  |
|      | ③ 方向性                | ・これまでのコンテンツに加え、短時間で分かりやすい動画をSNSなどを使い定期的に配信することによって、発信力の高い若者層を新たに視聴者に取り込み、より幅広い歴史ファン層の獲得を目指す。<br>・4年振りに対面で開催する古代出雲文化シンポジウムについては、会場において講師が現地を案内する現地映像を流すなどの工夫を行うことで、来訪者の増加につなげていく。<br>・東京において連続講座を開催し、講座受講者を中心に首都圏在住者を対象とした「しまねの古代文化探訪ツアー」を試験的に実施し、首都圏から来訪する人々の島根の古代文化に対するニーズ等を探る。                 |